

教員の研究成果【受賞・成果】 2012年10月～2013年6月

中央大学公式 Web サイトに掲載された研究・活動成果のご紹介

理工学部教授 牧野 光則

成果



▶ 経団連（日本経済団体連合会）主催の「情報セキュリティ人材に関する説明会」において、中央大学の「研究と実務融合による高度情報セキュリティ人材育成プログラム（ISS square）」への取組みについて講演を行い、その内容が週刊経団連タイムスNo. 3112に掲載された。

理工学部教授 竹内 健

成果



▶ 信頼性 32 倍 ビッグデータ向けフラッシュメモリ / ReRAM 統合ストレージシステムの成果発表を行った。
「国際固体素子回路会議 (ISSCC 2013)」
論文名：Unified Solid-State-Storage Architecture with NAND Flash Memory and ReRAM that Tolerates 32 × Higher BER for Big-Data Applications

理工学部教授 小松 晃之

成果



▶ 「酸素を輸送できるタンパク質クラスターの合成に成功＝人工酸素運搬体（赤血球代替物）としての臨床応用に期待＝
本研究成果は、米国化学会誌 Biomacromolecules に掲載された。

理工学部教授 早坂 七緒

受賞



▶ 「第 9 回日本オーストリア文学会賞」
2013 年度春季総会・研究発表会
受賞した著書：Wilhelm Fink 社より 2011 年に出版された
“Robert Musil und der genius loci - Die Lebensumstaende des 《Mannes ohne Eigenschaften》”

理工学部教授 大隅 久

受賞



▶ ロボティクス・メカトロニクス部門功績賞
日本機械学会

理工学部教授 田口 東

受賞



▶ 年間優秀論文賞
日本都市計画学会
論文名：「低頻度な公共交通網を有する地域の移動利便性の評価手法に関する研究 - 時空間ネットワークを用いた公共交通網と都市構造の関連分析 -」（国土交通省赤星健太郎氏ほかと共著）

総合政策学部教授 平野 廣和

成果



▶ 競争的資金「A-STEP シーズ顕在化タイプ」に採択研究課題：「スロッシングによる矩形受水槽の被害メカニズムの解明とその減衰対策の研究」共同提案先：株式会社 十川ゴム

研究開発機構教授 福岡 捷二

受賞



▶ 「功績賞」「研究業績賞」
土木学会
授賞論文：「洪水流と土砂移動を一体的に捉えた実用的な解析法の開発と河道設計・管理への適用」

経済学部准教授 丸山 佳久

受賞



▶ 優秀論文賞 (Best Paper Award)
EMAN-EU 2013 Conference
受賞論文：Material Flow Cost Accounting for Carbon Management: Utilizing PAF Approach

理工学部准教授 米津 明生

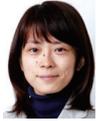
受賞



▶ 日本非破壊検査協会秋季講演大会 創立 60 周年記念式典 “60 周年記念優秀論文賞”
日本非破壊検査協会
受賞対象論文：「AE を用いた円筒タンク底板腐食位置の標定」 Location of Floor Plate Corrosion of a Storage Tank by Acoustic Emission 長 秀雄、米津 明生、渡部 剛、竹本 幹男、鈴木 裕晶

理工学部准教授 新妻 実保子

受賞



▶ 日本機械学会奨励賞
業績名：空間知能化のためのヒューマンインタフェース「空間メモリ」の提案と応用

理工学部准教授 後藤 順哉

受賞



▶ 最優秀賞
経営科学系研究部会連合協議会 平成 24 年度データ解析コンペティション
受賞研究タイトル：「顧客による まだ、ここがない、出会い。のためのクーポンランキング」

理工学部准教授 高松 瑞代

受賞



▶ 年間優秀論文賞
日本都市計画学会
論文名：「低頻度な公共交通網を有する地域の移動利便性の評価手法に関する研究 - 時空間ネットワークを用いた公共交通網と都市構造の関連分析 -」（国土交通省赤星健太郎氏ほかと共著）

理工学部助教 鈴木 克規

受賞



▶ 昭和電工研究企画賞
有機合成化学協会

理工学部助教 田村 雄介

受賞



▶ 日本機械学会奨励賞
業績名：人の動作からの意図推定とそれに基づいた支援システムの研究

教員の研究成果【授与】

法学部教授・日本比較法研究所所員 山内 惟介



▶ ミュンスター大学（ドイツ連邦共和国）名誉法学博士号日本人で最初の受賞。（1）ドイツ法学界への多大なる貢献（2）中央大学・ミュンスター大学間の 25 年を超える交流制度の創設と維持発展への多大なる貢献